

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		S46~	
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	03 個性あふれる観光のまちづくり
	小項目	施策	01 観光
事務事業名		08	かき海道浸透事業
根拠法令・例規等		問	担当課(室) 商工観光課
職・氏名		職	観光係長 山台 智子
電話		電	64-1832

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	観光客・市民
目的(何のために)	かきをメインにした観光・地域活性化事業を実施、支援することにより、市民融和及び観光客の動員を図る。
行政活動(どのような方法で)	ひなせかき祭の開催、かき海道浸透事業やJR赤穂線沿線地域活性化事業を通じて、特産品のカキを全国にPRする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	イベント集客数の増加

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	イベント(かきまつり)	回	1	1	1
実績	イベント集客数	人	40,000	40,000	40,000
	ひなせかき祭補助金	千円	-	800	560
結果	かき祭り事業	千円	2,169	-	-
	直接事業費	千円	2,169	800	560
結果	必要人員	人	0.12人	0.34人	0.28人
	事業費計	千円	2,856	2,929	2,461
結果	国県支出金	千円	1000	-	-
	受益者負担	千円	150	-	-
結果	繰入金債	千円	-	-	-
	その他()	千円	-	-	-
結果	一般財源	千円	1,706	2,929	2,461
	受益者負担比率	%	5.3%	-	-

結果指標					
結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	イベント(かき祭り)	説明	-	-	-
結果指標②	結果指標量	回	1	1	1
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
結果指標③	活動コスト	円	2,856,000	2,929,000	2,461,000
	単位当たりコスト	円	2,856,000	2,929,000	2,461,000
結果指標④	イベント集客数	説明	-	-	-
	結果指標量	人	40,000	40,000	40,000
結果指標⑤	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	2,856,000	2,929,000	2,461,000
結果指標⑥	単位当たりコスト	円	71	73	62

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
イベント集客数	目標値(A)	42,000	42,000	42,000	42,000
	実績値(B)	40,000	40,000	40,000	到達目標年度
	達成率(B/A)	95.24%	95.24%	95.24%	平成22年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
ほぼ前年とおりの集客数					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	C
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	日生のかきを中心に備前地域の水産物のPR及び市民融和、誘客に必要な事業であるが、かきのPRは概ね浸透してきている。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> C

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況		目標値	結果指標量①	41,000	結果指標量②	42,000
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	「カキオコ」による観光客の増加は目を見張るものがある。知名度の高い「日生のかき」をさらに印象付けるものであり、この好材料を活用して積極的なPRを行い「食」の備前をPRしていく。					

総合評価		評価区分<A~E>	C
日生のかきは知名度が高く、特にカキオコ人気により誘客につながった。この知名度を有効活用しながら、経費をかけないPRを積極的に展開して、冬期限定の産地ブランドとして推進していきたい。			

平成22年度以降の方向性・内容		目標値	結果指標量①	41,000	結果指標量②	42,000
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	カキオコ人気をさらに展開していけるよう、今後の課題として検討する必要がある。					

改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	効率性	事業費の見直し	随時	経費節減